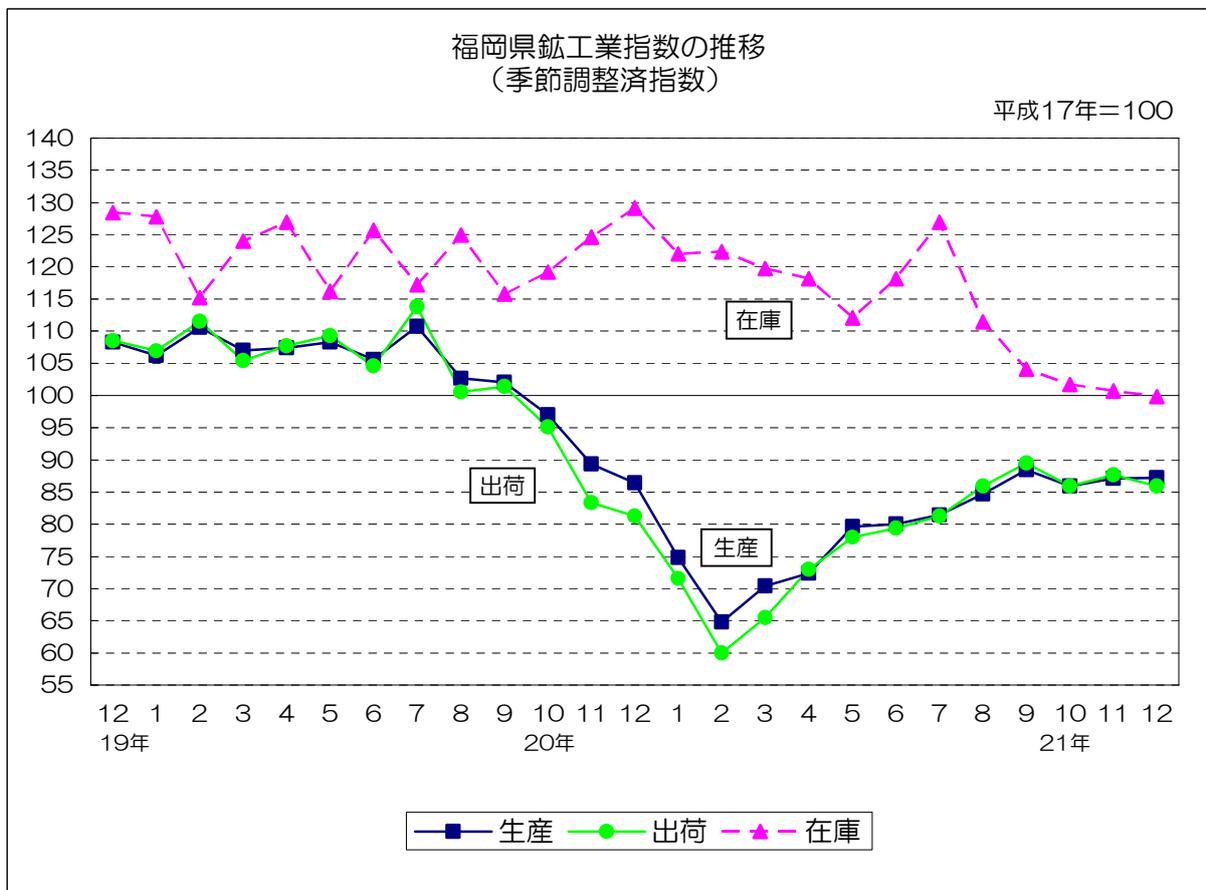


平成17年基準

福岡県鉱工業指数月報

(平成21年12月)



平成21年12月の鉱工業指数

概況

- 平成21年12月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比0.1%上昇、出荷が同2.1%の下落、在庫が同0.9%の下落となった。

- (1) 生産
 - 季節調整済指数 : 87.2で前月比0.1%増（2か月連続のプラス）
 - 原指数 : 89.0で前年同月比2.1%増（15か月ぶりのプラス）

- (2) 出荷
 - 季節調整済指数 : 85.9で前月比2.1%減（2か月ぶりのマイナス）
 - 原指数 : 90.4で前年同月比8.7%増（2か月連続のプラス）

- (3) 在庫
 - 季節調整済指数 : 99.8で前月比0.9%減（5か月連続のマイナス）
 - 原指数 : 92.8で前年同月比22.5%減（5か月連続のマイナス）

- 前月比（季節調整済）

		[上昇]	[横ばい]	[下落]
生産（18業種中）	:	9業種	0業種	9業種
出荷（18業種中）	:	10業種	0業種	8業種
在庫（18業種中）	:	4業種	0業種	14業種

(1) 九州・全国との比較

（平成17年=100）

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	87.2	0.1	89.0	2.1
	出荷	85.9	▲ 2.1	90.4	8.7
	在庫	99.8	▲ 0.9	92.8	▲ 22.5
九州	生産	97.1	1.8	98.4	9.5
	出荷	95.4	▲ 0.6	97.8	11.3
	在庫	108.5	1.3	107.4	▲ 11.5
全国	生産	89.7	1.9	91.4	5.1
	出荷	90.5	1.0	94.3	5.2
	在庫	93.6	▲ 0.1	93.0	▲ 14.7

(2) 前月比（季節調整済）での上昇下落業種（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	下落に寄与した業種
鉄鋼業 一般機械工業 化学工業 金属製品工業 電気機械工業 プラスチック製品工業 電子部品・デバイス工業 鉱業 石油・石炭製品工業	輸送機械工業 食料品・たばこ工業 木材・木製品工業 非鉄金属工業 窯業・土石製品工業 パルプ・紙・紙加工業 ゴム製品工業 繊維工業 家具工業

四半期別指数の動向

平成21年10～12月期の概況

○ 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比2.1%の上昇、出荷が同1.1%の上昇、在庫が同11.7%の下落となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 86.7で前期比2.1%増（3期連続）
原指数 : 89.0で前年同期比5.2%減（5期連続）

(2) 出荷

季節調整済指数 : 86.5で前期比1.1%増（3期連続）
原指数 : 89.5で前年同期比0.7%減（5期連続）

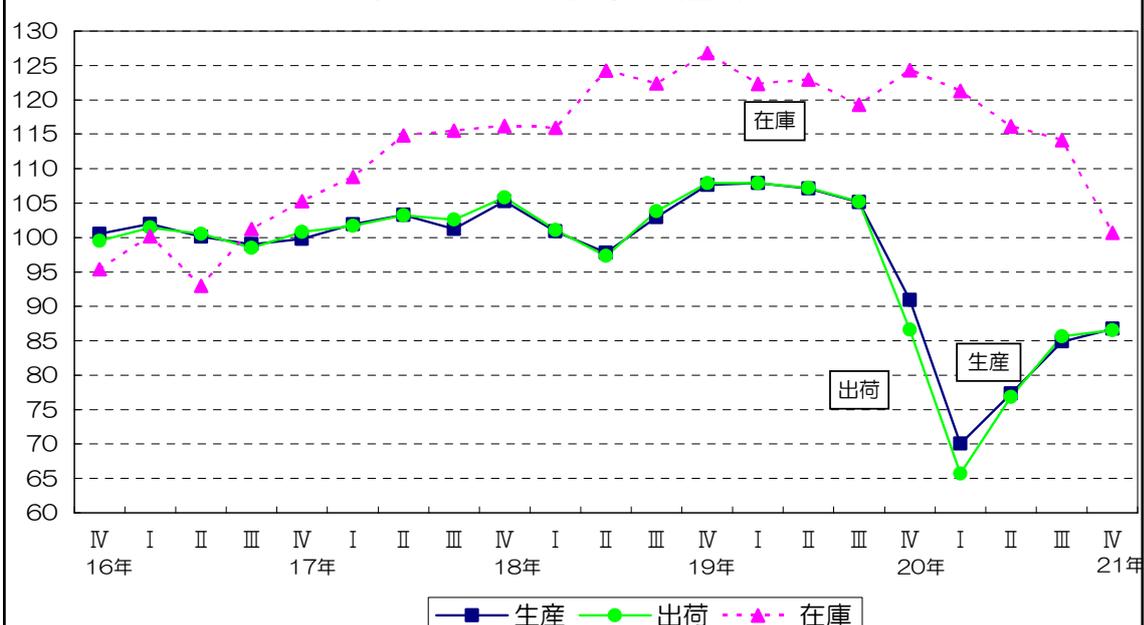
(3) 在庫

季節調整済指数 : 100.7で前期比11.7%減（4期連続）
原指数 : 101.5で前年同期比18.2%減（7期連続）

平成17年=100

		生産		出荷		在庫	
		季節調整済指数	前期比(%)	季節調整済指数	前期比(%)	季節調整済指数	前期比(%)
20年	10～12月期	90.9	▲13.5	86.6	▲17.7	124.3	4.2
21年	1～3月期	70.0	▲23.0	65.7	▲24.1	121.3	▲2.4
	4～6月期	77.3	10.4	76.8	16.9	116.1	▲4.3
	7～9月期	84.9	9.8	85.6	11.5	114.1	▲1.7
	10～12月期	86.7	2.1	86.5	1.1	100.7	▲11.7
		原指数	前年同期比(%)	原指数	前年同期比(%)	原指数	前年同期比(%)
20年	10～12月期	93.9	▲14.9	90.1	▲19.5	124.1	▲2.1
21年	1～3月期	70.3	▲35.2	66.0	▲39.3	119.2	▲0.7
	4～6月期	75.4	▲28.2	74.3	▲28.8	116.5	▲5.6
	7～9月期	83.5	▲19.2	83.6	▲18.9	115.7	▲4.5
	10～12月期	89.0	▲5.2	89.5	▲0.7	101.5	▲18.2

四半期別指数の推移(季節調整済指数)



全業種・主要9業種の動向
(21年12月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は87.2(季節調整済)となり、前月と比べると輸送機械工業や食料品・たばこ工業などが下落したが、鉄鋼業や一般機械工業などが上昇したため、総合では前月比0.1%の上昇(前年同月比2.1%の上昇)となった。
- (2) 出荷指数は85.9(季節調整済)となり、前月と比べると鉄鋼業や一般機械工業などが上昇したが、輸送機械工業や食料品・たばこ工業などが下落したため、総合では前月比2.1%の下落(前年同月比8.7%の上昇)となった。
- (3) 在庫指数は99.8(季節調整済)となり、前月と比べると輸送機械工業や一般機械工業などが上昇したが、電子部品・デバイス工業や化学工業などが下落したため、総合では前月比0.9%の下落(前年同月比22.5%の下落)となった。

○ 主要9業種の動向

[生産]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	9.2	30.2	特殊鋼熱間圧延鋼材、軌条、冷延広幅帯鋼 等
金属製品	12.2	▲48.9	鉄構物 等
一般機械	12.5	▲22.9	半導体製造装置、産業用ロボット、鉄鋼用ロール 等
電気機械	4.9	▲22.4	サーボモータ、交流電動機 等
電子・デバイス	1.4	5.4	光電変換素子、混成集積回路、線形回路 等
輸送機械	▲8.4	39.1	鋼船、普通自動車、自動車車体 等
窯業・土石製品	▲2.2	▲10.2	安全ガラス複層ガラス 等
化学	6.6	27.8	ビスフェノールA、医薬品、ジフェニルメタンジイソシアネート 等
食料品・たばこ	▲3.4	▲3.5	その他の調味料、固型カレー、菓子 等
総合	0.1	2.1	—

[出荷]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	12.5	26.9	特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材 等
金属製品	4.3	▲30.9	鉄構物 等
一般機械	11.8	▲23.7	半導体製造装置、産業用ロボット、鉄鋼用ロール 等
電気機械	5.6	▲19.3	交流電動機、サーボモータ 等
電子・デバイス	4.5	15.0	光電変換素子、線形回路、混成集積回路 等
輸送機械	▲12.0	41.1	普通自動車、鋼船 等
窯業・土石製品	▲0.5	▲5.7	ほろろろ鉄器、安全ガラス複層ガラス、道路用コンクリート製品 等
化学	5.8	27.4	ビスフェノールA、医薬品、ポリカーボネート 等
食料品・たばこ	▲5.1	▲0.5	菓子 等
総合	▲2.1	8.7	—

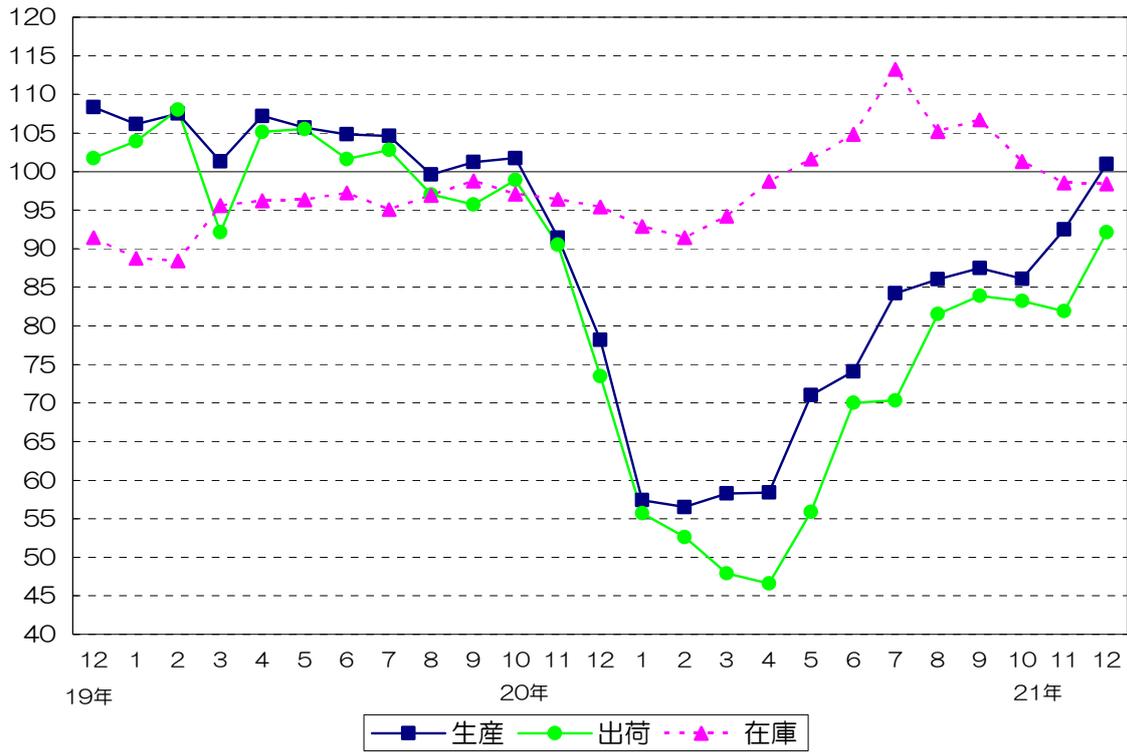
[在庫]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲0.1	3.1	軌条 等
金属製品	▲6.7	▲40.8	ガス湯沸器 等
一般機械	6.2	▲61.4	ポンプ 等
電気機械	▲3.0	21.5	電力量計 等
電子・デバイス	▲100.0	▲100.0	線形回路、計数回路
輸送機械	13.1	▲12.9	普通自動車
窯業・土石製品	▲1.6	▲11.0	安全ガラス複層ガラス、道路用コンクリート製品、衛生用陶磁器 等
化学	▲3.4	▲50.3	トルイレンジイソシアネート、ポリカーボネート、複合肥料 等
食料品・たばこ	▲1.2	▲7.2	ビール 等
総合	▲0.9	▲22.5	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

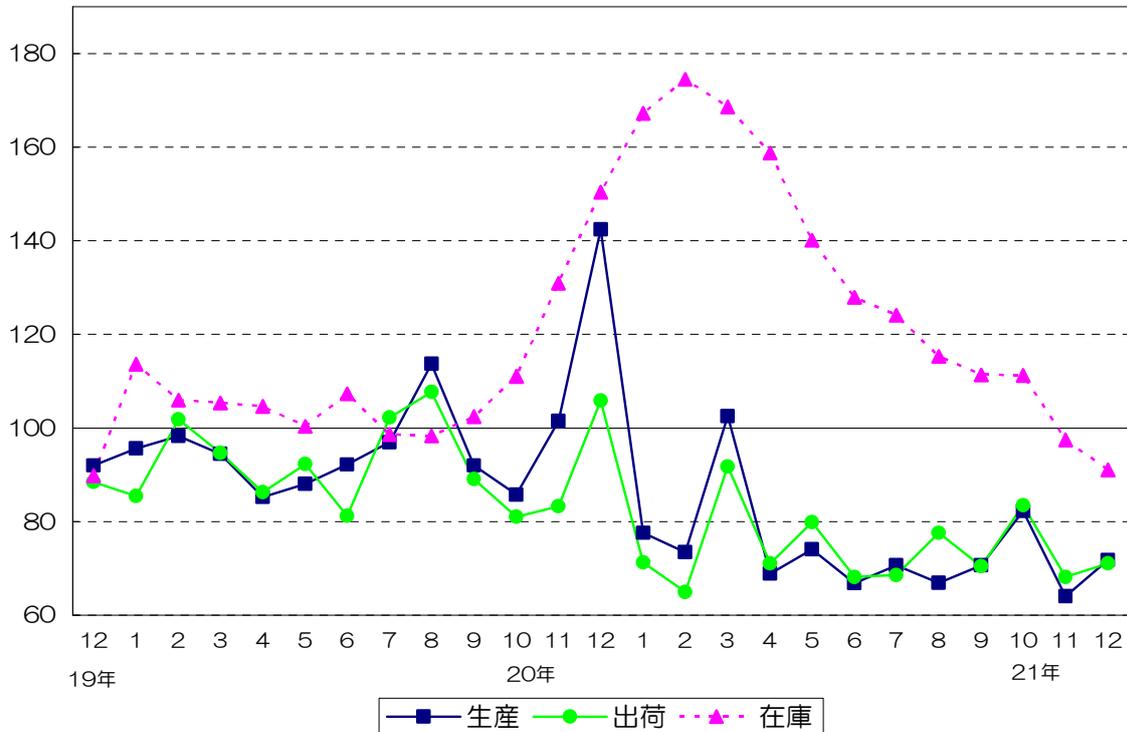
鉄鋼業 (季節調整済指数)

平成17年=100



金属製品工業 (季節調整済指数)

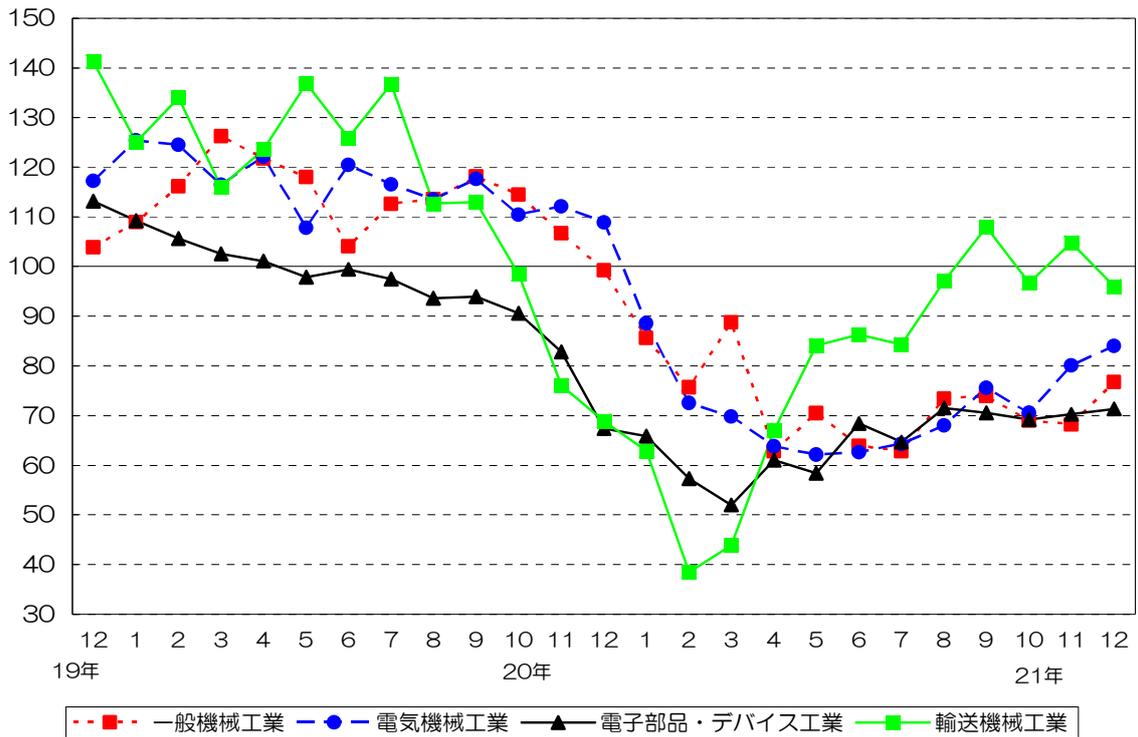
平成17年=100



機械工業（季節調整済指数）

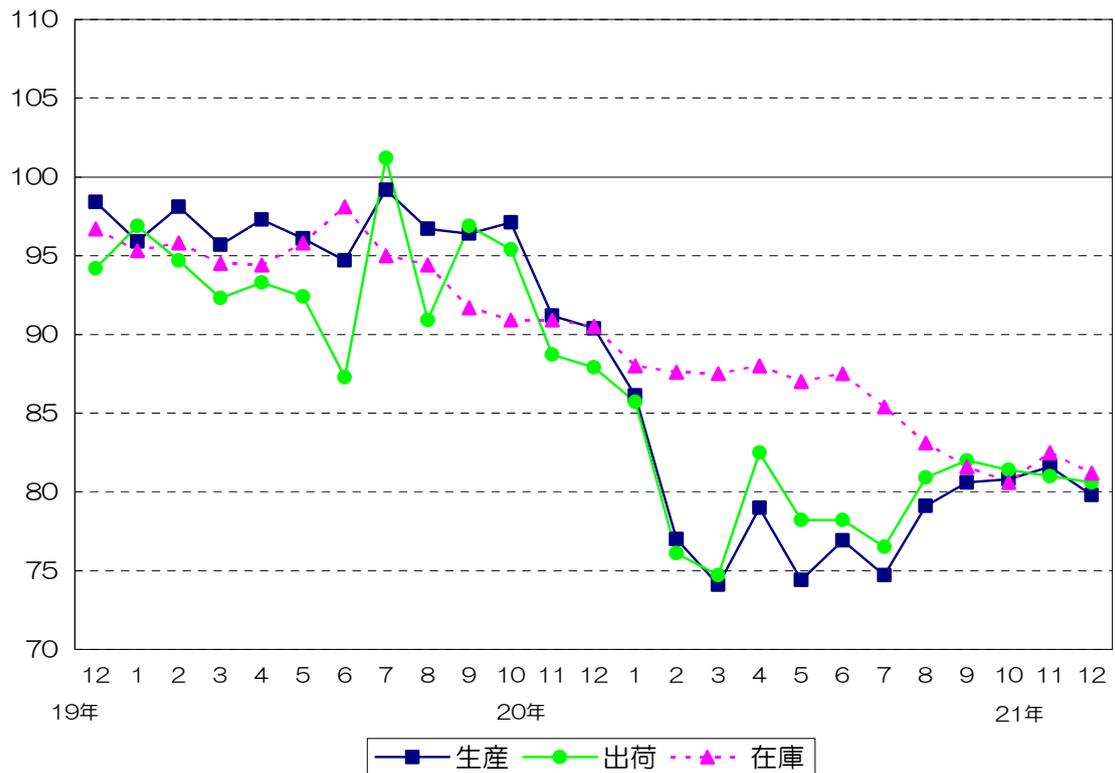
*生産指数のみ。

平成17年=100



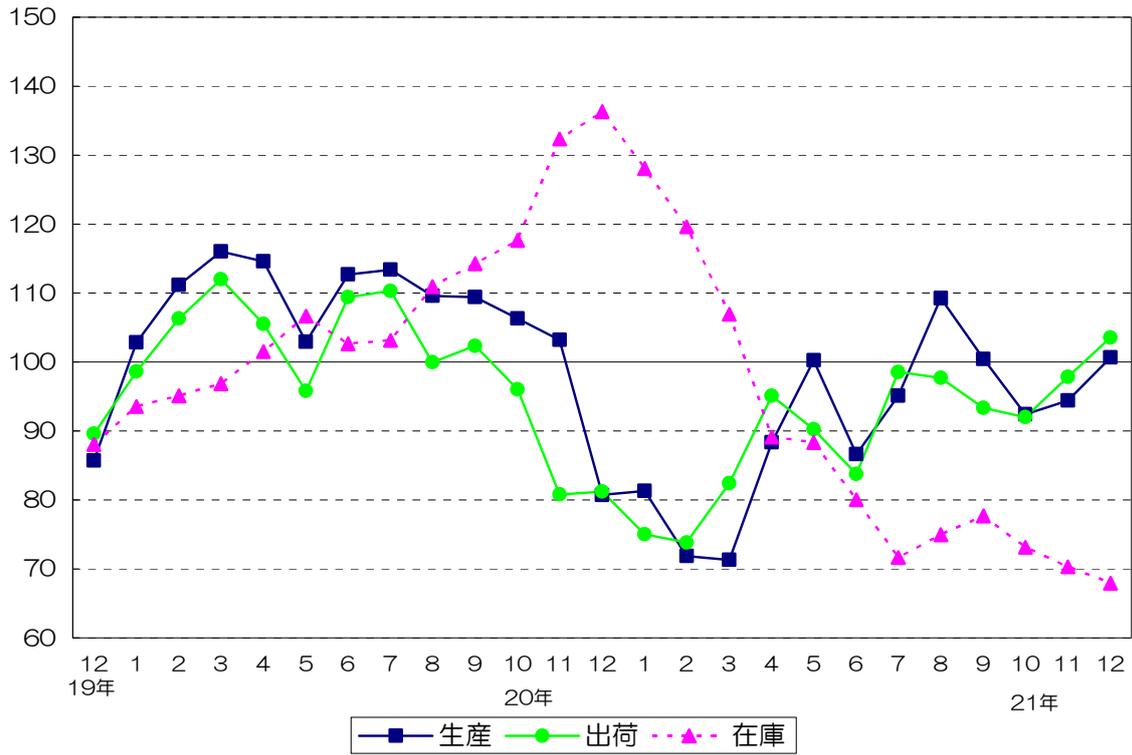
窯業・土石製品工業（季節調整済指数）

平成17年=100



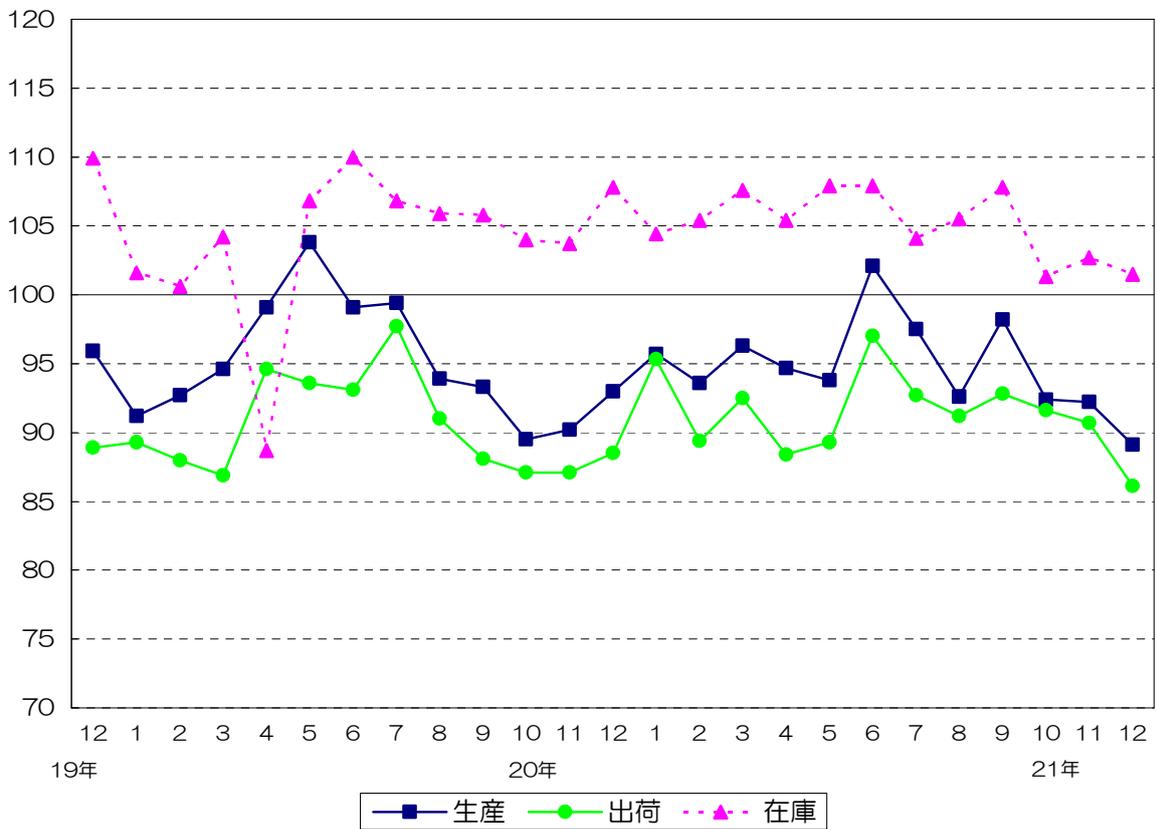
化学工業 (季節調整済指数)

平成17年=100



食料品・たばこ工業 (季節調整済指数)

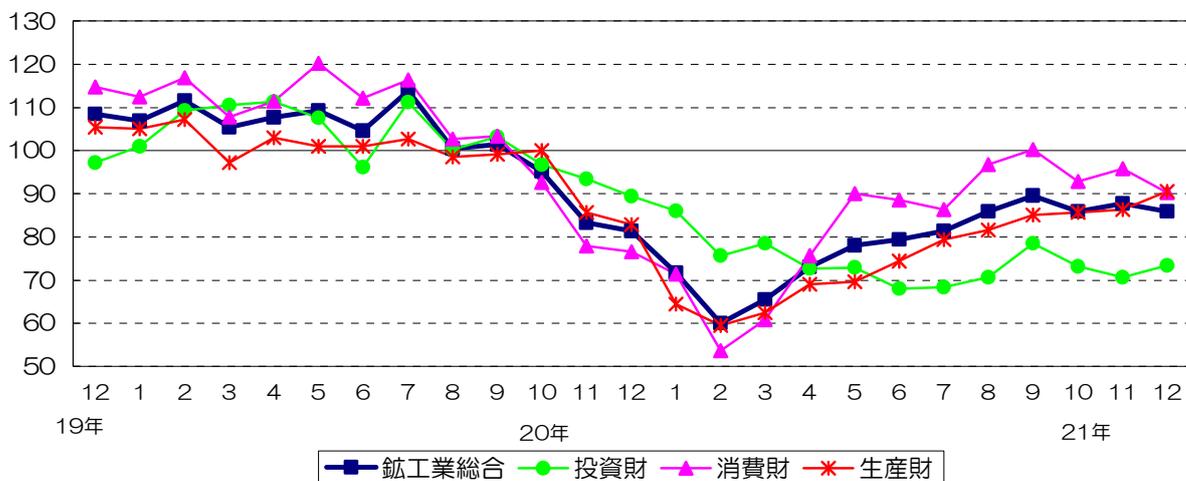
平成17年=100



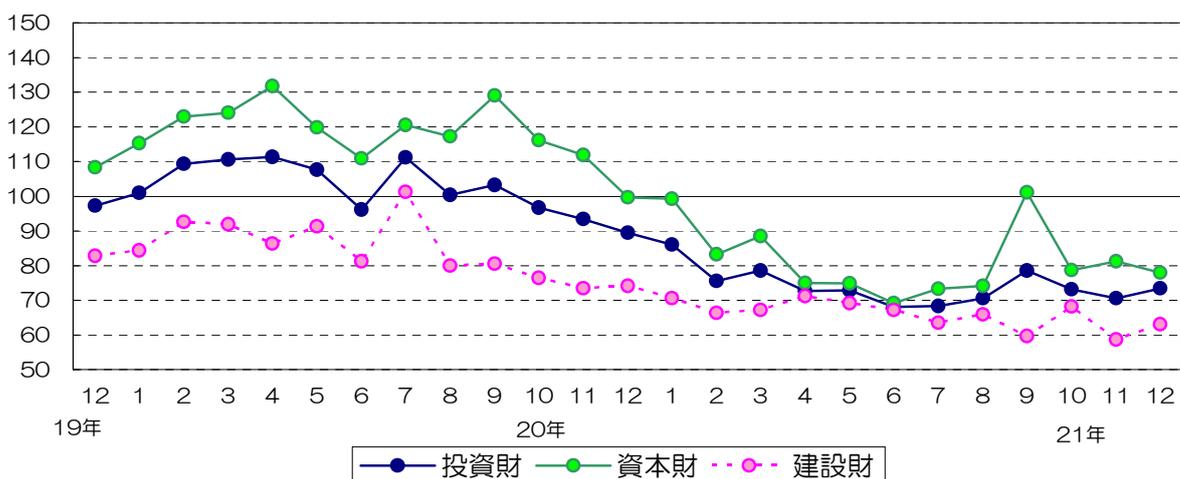
福岡県鉱工業出荷指数財別の推移（季節調整済指数）

平成17年=100

鉱工業総合



投資財



消費財

